

様式(細則 6-2)

令和6年11月29日

浜田市議会議長 様

議員名 牛 尾 昭

研 修 受 講 報 告 書

下記のとおり研修を受講したので報告します。

記

1. 研修名

第18回 マニフェスト実行後各事例研修会

2. 受講の目的(市政との関連など)

更なる議会改革のため。

3. 期間(移動日を含む)

令和6年11月14日(木) ~ 令和6年11月15日(金)

4. 経費 ￥ 62,910 - 円

(経費内訳 受講料 6820 円、旅費 55,890 円)

5. 研修のポイント・議員活動や市政への反映など

トリアランサー連の事例研修し、改革にいかす。

6. 研修内容

(詳細は別紙のとおり)



第 19 回マニフェスト大賞受賞事例発表会

日時：11 月 14 日（木）～15 日（金）

会場：虎ノ門ヒルズ

主催：ローカルマニフェスト推進議員連盟

共催：マニフェスト大賞実行委員会

式次第

- 1、審査委員長：北川正恭氏
- 2、実行委員長：鈴木綾子氏
- 3、事例発表：
 - 政策・街創り部門・・・12 件
 - 議会改革部門優秀賞・・・8 件
 - 躍進賞・・・3 件
 - シティズンシップ部門・・・10 件
 - ローカルマニフェスト部門（議員・会派）・・・3 件
 - ローカルマニフェスト（首長）部門・・・5 件
 - 特別賞・・・3 件
 - インターネット投票・・・3 件

牛尾昭は、全国 3012 件応募のうち、全体で 105 件のエリア選抜、中国エリアでは 7 件に選出（島根では上定市長と牛尾のみ）される。

議会改革部門優秀賞では、栗山町議会、芽室町議会、奥州市議会、藤沢市議会、西脇市議会、丹波市議会、王子町会、宮崎市議会の 8 議会。

改革部門躍進賞は下川町議会、酒田市議会、御宿町議会の 3 件であった。

考察

それぞれ、著名な議会が受賞していて、栗山町はなり手不足対策の「議員の学校」、芽室町は、基本条例の条文の「総動員」奥州市は「生成 AI の活用」、藤沢市は「政策検討会議」の設置、西脇市は「議会報告会のターゲット拡大」を目指している。丹波市は、地元大学・市内 3 高校との「双方向交流」宮崎市議会は、スマートフォンを活用して「宮崎市議会 DX みやだん」を始めた。

それぞれの議会は、過去の受賞実績にとらわれず、新たな挑戦をしている。我々も先進市を参考とし、弱い部門への取組が必要である。

なお、首長部門の最優秀賞は松江市の上定市長であった。全体の最優秀大賞は、都知事選挙で有名になったチーム安野の「2024 年東京都知事選挙における参加型マニフェストの取組」であった。

以上報告します。 牛尾昭。